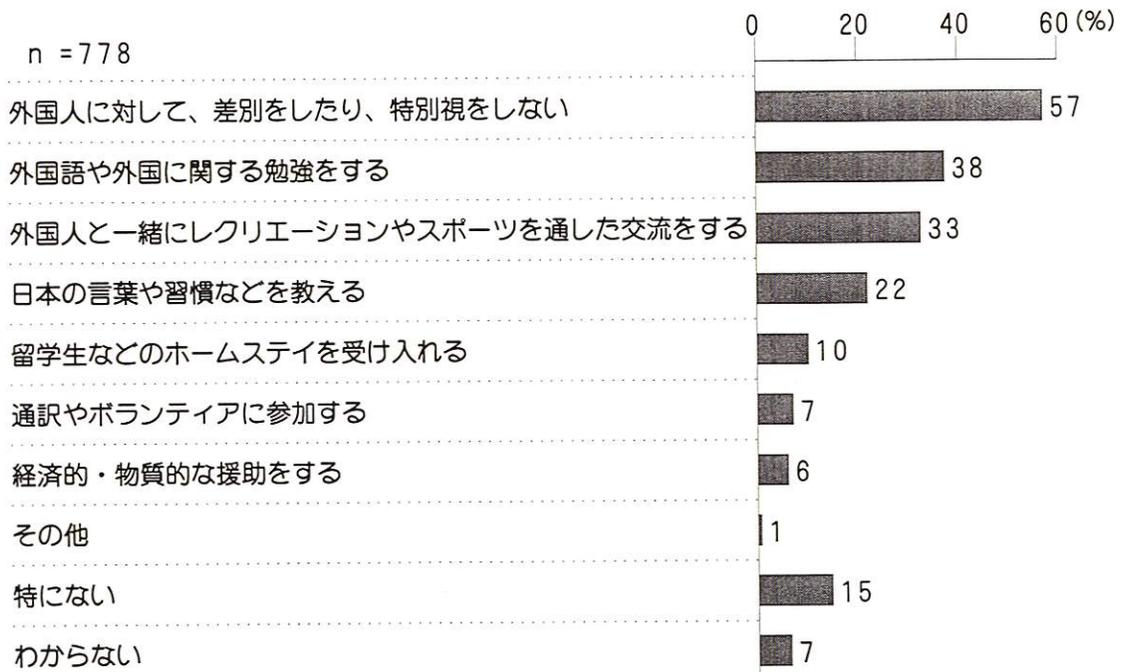


8. 国際化社会

8-1. 国際交流における期待

問17. 今後、外国との交流がすすむ中で、あなたは、どのようなことに参加したり、自分でしたいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。

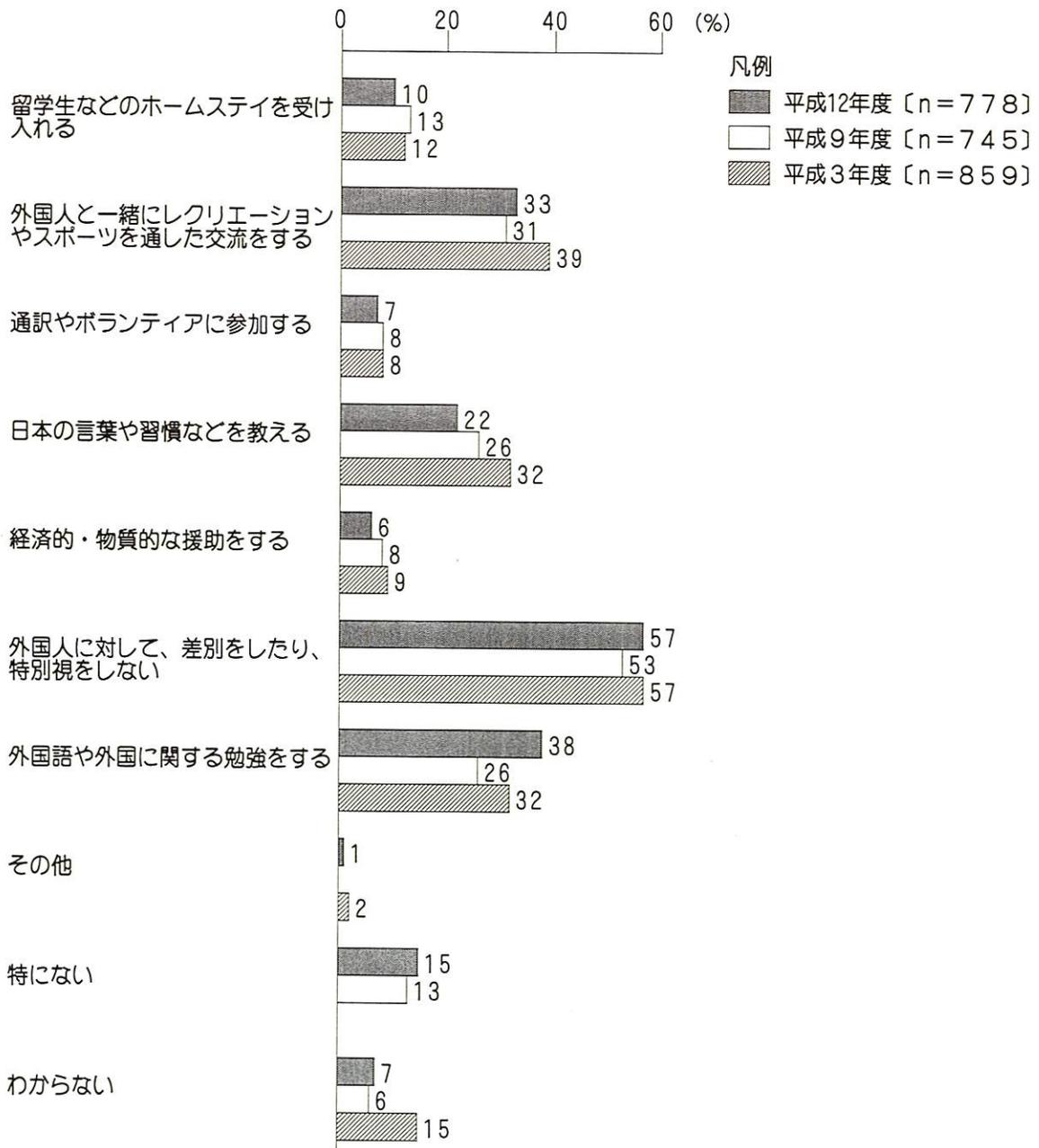
図8-1-1



今後、外国との交流がすすむ中で、どのようなことができると思うかたずねたところ、「外国人に対して、差別をしたり、特別視をしない」が57%で最も多く、次いで「外国語や外国に関する勉強をする」(38%)、「外国人と一緒にレクリエーションやスポーツを通じた交流をする」(33%)の順になっている。(図8-1-1)

平成9年度の調査と比較すると、比率が上がったのが目立つのは、「外国語や外国に関する勉強をする」(+12ポイント)と「外国人に対して、差別をしたり、特別視をしない」(+4ポイント)で、また、反対に下がったのは、「日本の言葉や習慣などを教える」(-4ポイント)、「留学生などのホームステイを受け入れる」(-3ポイント)となっている。「日本の言葉や習慣などを教える」は平成3年度から減少傾向にある。(図8-1-2)

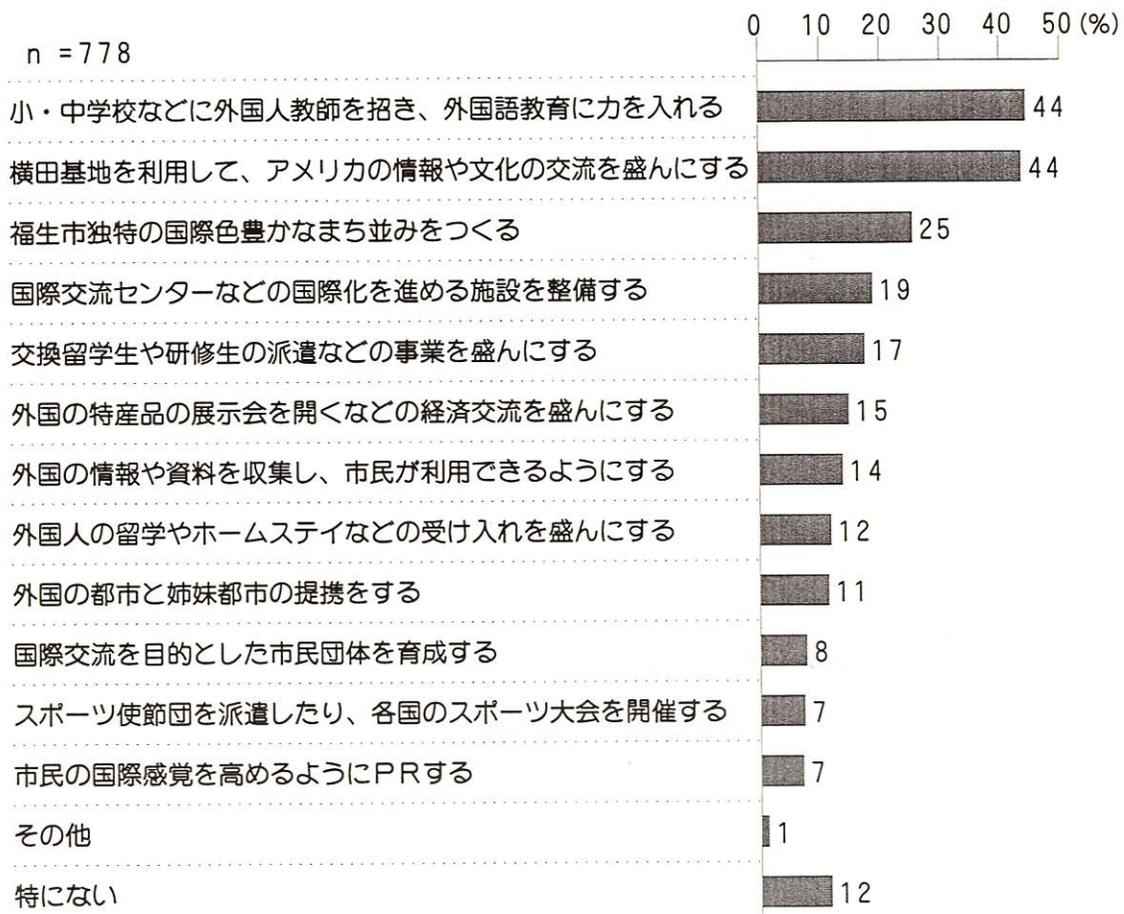
図8-1-2 国際交流における期待一時系列



8-2. 国際化を進めていく上での重点

問18. 市が国際化を進めていく上で、特に力を入れるべきだと思うことをこの中から3つまであげてください。

図8-2-1



国際化を進めていく上で、重点をおくべきことについてたずねたところ、「小・中学校などに外国人教師を招き、外国語教育に力を入れる」が44%で最も多く、次いで「横田基地を利用して、アメリカの情報や文化の交流を盛んにする」（44%）、「福生市独特の国際色豊かなまち並みをつくる」（25%）の順になっている。（図8-2-1）

性・年代別にみると、「小・中学校などに外国人教師を招き、外国語教育に力を入れる」が女性30代（64％）で最も高くなっており、「横田基地を利用して、アメリカの情報や文化の交流を盛んにする」が男性20代（54％）、女性20代（52％）、30代（53％）で高くなっている。また目立ったものとして、「福生市独特の国際色豊かなまち並みをつくる」が女性20代（38％）において特に高くなっている。（図8-2-2）

図8-2-2 国際化を進めていく上での重点(上位10項目)－性・年代別

